

光彩奪目

【山田祭・関連記事2〜3ページ】



八幡宮

八幡宮

やまた
広報

10月1日号 2012

No
1010

今号の主な内容

山田祭
佐藤町長所信表明
町のわだい
みんなのスペース

2〜3
4〜7
9 14

CONTENTS

山田祭

山田八幡宮と大杉神社の神幸祭が9月16日と17日に行われ、町中が笛や太鼓の祭ばやしに包まれました。16日は2年ぶりに八幡宮のみこしが金色の光を放ちながら町中を暴れ回り、沿道の観客を魅了。17日の大杉神社の神幸祭では、津波に流されたみこしが展示され、復活を祈願しながら各芸能団体が舞を奉納しました。また、15日からの3日間はJR陸中山田駅前の「お祭り広場」で町内外の郷土芸能が披露され、終日大勢の家族連れでにぎわっていました。

舞

時に美しく、時に力強く



山田大神楽



関口不動尊神楽



八幡鹿舞

壮

勇ましい姿に、息を飲む



山田八幡宮神輿

響

掛け声、鼓動が一つとなる



愛宕青年会八木節

山田境田虎舞



群馬県。桐生八木節(上州陸会)

青森県青森市
青森ねぶた



彩

まちを染める、それぞれの思い

関口剣舞



八幡大神楽



静岡県三島市・子供しゃぎり



所信表明の概要



安全なまちをつくり、次の世代へ

早期復興へ全力

佐藤信逸町長が就任して初となる議会定例会が9月20日に開会し、佐藤町長は所信表明で「私たちに安全なまちをつくり、次の世代に引き継ぐ責務がある。『一人はみんなのために、みんなは一人のために』の精神で復興へ全力を傾注する」と今後4年間の町政運営の基本方針を述べました。今号では、所信表明の概要を紹介します。

はじめに

昨年3月11日に発生した東日本大震災・大津波は、過去に例のない壊滅的な被害をもたらした。町民の尊い命や財産を一瞬にして奪い去りました。ここにあらためて、亡くなられた方々に対してご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。

また、発災当初から消防団、自衛隊などの皆さまによる数々の支援活動をはじめ、国内外の皆さまから物心両面にわたり多大なご支援をいただきましたことに対し、御礼申し上げます。震災からの復興という、この

歴史的な変革の時期に、その舵取り役としての職責の重さを与えられた使命の大きさをあらためて肝に銘じ、町民の皆さまの復興にかける強い思いと大きな期待に応えるべく、新たなまちづくりを進めていくため、私の考えを申し述べてまいります。

町政の推進にあたりましては、震災からの復旧・復興、特に「安全なまちづくり」とりわけ「住まいの確保」「産業の再生・復興」が最優先課題と捉えております。

またいつ、この山田町を津波が襲ってくるかわかりません。しかし、二度とこのような犠牲

者を出すわけにはいきません。私たちには安全なまちをつくり、次の世代に引き継ぐ責務があります。そのため、被災地域の再生・復興が急務であり、このことが町の振興・発展につながるものと確信しております。

早期復興を実現させるために必要なこと、それはまちづくりの基礎となる土地利用計画に町民の皆さまのご理解をいただき、合意形成することであり、これがあらゆる施策の基本になると捉えております。合意形成には、それぞれが「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の精神を持たなければ前

に進まないものと思っております。私は、このことを最重要課題に掲げ、全力を傾注する覚悟であります。

町民の皆さまに訴えてまいりました「山田10策」を中心とした、これからの「まちづくり」への施策について申し上げます。

◎住まいの確保

◇災害公営住宅

災害公営住宅は、町と県で覚書を締結し、町内に738戸の整備を決定しました。現在は、豊間根地区に72戸の住宅建設用地を確保し、県整備分の着工準備に入ったところです。今後も用地の確保に全力を挙げ、一日でも早い入居を実現できるように、早期の着工・完成に努めます。

また、被災した町営柳沢住宅は、利用者の意向や財政負担などを総合的に判断し、改修も視野に入れて方向性を検討します。

◇住宅の再建

防災集団移転促進事業などにより現在の場所での土地のかさ

所信表明の概要



山田地区の災害危険区域説明会

上げや近隣への高台移転を着実に進め、住宅を再建しようとする方には、被災者生活再建支援制度などにより支援します。

また、小規模防災集団移転促進事業の希望者については、実現に向けた取り組みを進めます。さらに、町の復興事業によらず自力で再建をした方に対する町独自の支援制度も実施します。

住宅再建への足かせとなつてゐる「二重ローン問題」の解決策として、国が創設した「個人債務者への私的整理に関するガイドライン」制度の周知と合意の成立促進に向け、効果的な対策が講じられるよう、国へ働き

掛けていきます。

◎防潮堤・交通網の早期整備

◇海岸防潮堤の復旧・整備

海岸防潮堤については、県と連携して明治三陸大津波クラス

の津波に耐えられる高さで復旧計画を進めているところです。

町営漁港の防潮堤は、災害復旧事業で早期に復旧を進めます。

被災前に防潮堤が無かつた無堤区間は、県と設置に向けた協議を始めており、柳沢・袴田区画などで調査費を予算化する予定とのことから、県と連携して事業の促進を図ります。

◇交通網の復旧・整備

主要地方道重茂半島線は、大沢地内で予定されている新たな高台ルートへの整備の促進を図ります。一般県道宮古山田線は、三陸沿岸道路と並行して新たな整備が決定しており、県と連携して事業の促進を図ります。

町道細浦柳沢線は、復興交付金事業により着実に推進し、被災した町道や橋りようについては、早急な復旧に努めます。

鉄道は町民の通勤・通学や病院、観光などの移動手段としても重要な役割を担っています。

被災地の負担のない形でJR山田線の全線復旧が早期になされるよう、JR東日本と国に対し、関係自治体とともに粘り強く要望していきます。

◇上下水道の復旧・整備

水道事業は、震災により悪化した経営を立て直し、被災した施設の早期復旧、復興計画に合わせた配水管の整備に努めます。

下水道事業は、供用開始している大沢、船越、大浦地区の効率的な経営と維持管理に努め、被災施設の早期復旧を行います。

下水道集合処理区域外では、合併処理浄化槽設置事業により、浄化槽の普及促進に努めます。

◇山田消防署庁舎の移転

山田消防署庁舎は、防災拠点として機能を発揮するため、各種災害に速やかに対応できるよう、交通アクセスの良い場所への移転の検討を進めます。

◎農林水産業の早期復興

◇水産業

水産業の基盤である漁港施設、漁業用施設、漁船や養殖施設、水産加工流通施設については、復興計画に基づき、国や県と連携して着実に復旧整備の促進、再生支援を図ります。市場は、今後安定した水揚げを確保するため、早期の復旧・復興がなされるよう支援していきます。

また、どのような水産業の復興が望ましいか、漁業者や漁業協同組合、関係機関の声に耳を傾け、連携してその方向性を模索していききたいと思います。

秋サケは昨年の水揚げが前年



漁港施設の復旧整備が進められています

を下回ったことから、資源回復の調査研究の取り組みについて引き続き県に要望してまいります。

震災によって事業の継続を断念する方が増え、漁業者が激減していることから、引き続き漁業後継者の確保と新規担い手の育成を図ります。

◇農林業

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故に起因する放射性物質の影響により、出荷制限指示となった農産物の生産者に生じた損害は、確実に賠償がなされるよう、関係機関と連携して手続きの指導を行います。

大浦、小谷島、大沢、織笠地区の農地は、農用地災害復旧関

連区画整理事業により整備します。荒川、豊間根地区については、復興交付金事業と中山間地域総合整備事業により、農地の区画整理と用排水路などの整備を進めます。いずれも県が事業主体でありますが、連携して事業の促進を図ります。

今後の農林水産業の振興・発展は生産と加工、流通の業務展開を行う「6次産業化」がポイントになると考えられることから、振興策について生産者や関係機関、産業団体と議論を深めていきます。

◎商工業再生と雇用の早期創出 ◇商工業

「独立行政法人中小企業基盤整備機構」による仮設店舗・工場の建設は、計画数に対し84%の完成率となっています。国・県補助金の交付決定を受けた事業者による本格復旧も増えてきたことから、各種助成・融資制度に関する情報提供を行いながら支援していきます。

中心市街地等施設の集積については、復興計画に基づき事業者や関係団体などと協議を重ね、その方向性を模索していきます。中小企業被災資産復旧事業費補助制度を拡充し、中小企業の復興を支援するとともに、各種支援制度の利用促進に努めます。工場再建や事業再建のため二

重ローンに苦しんでいる事業者が少なくないことから、新たに設立された「株式会社東日本大震災事業者再生支援機構」による支援制度の周知と支援決定の迅速化に向けて効果的な対策が講じられるよう、国や県に働き掛けていきます。

◇観光

昨年は震災により全てのイベントが中止となりました。今後は、船越家族旅行村周辺やシーカヤックを利用したイベントの開催、恵まれた自然環境を活用した新たな観光資源の掘り起こしに努めます。

営業を再開した「復興かき小屋」の通年営業を支援し、県内外へPRして誘客を図ります。



6月に行われたシーカヤック体験教室

被災した船越家族旅行村やオランダ島、荒神、浦の浜の海水浴場については早期復旧に向けて国・県に要望していきます。

◇雇用の確保

就労の場を確保するため事業再開を促進するとともに、固定資産税の減免や利子補給、企業誘致優遇措置制度を活用し、企業誘致に努めます。

震災復興特区として認定されている「産業再生特区」では、法人税額の特別控除、新規立地促進税制などが可能であることから、これらの制度周知に努めます。町としては、個人事業者や法人に対し、固定資産税の課税免除により企業立地や産業の復興を支援していきます。

緊急雇用創出事業は、平成25年度で終了することから、期間延長を国に働き掛けていきます。

◎教育・医療・介護・福祉の再構築 ◇学校教育

被災した船越小学校は、学校跡地に隣接する高台に敷地造成工事を進めており、平成26年4月の開校を目指します。

学校給食は、今後の復興の進捗よく状況を見ながら実施の時期について協議していきます。

◇生涯教育

被災した鯨と海の科学館、山田町勤労者体育センター、町立艇庫、海洋センター艇庫につい

ては、早期の復旧を進めます。

平成28年に本町で第71回国民体育大会高校軟式野球競技が開催されることから、施設の整備を図るとともに、関係機関・団体と連携し、円滑な運営に向けた取り組みを進めます。

◇医療機関の早期再建

県立山田病院は、大沢・山谷地区において仮設診療所で再開されましたが、入院や救急の受け入れができず、町外の病院などで対応している状況にあります。県立山田病院の医師を充足させ、被災前と同規模の入院機能を有し、救急受入れを行う病院として早期再建できるよう、県や県医療局に強く要望していきます。

また、被災した町内の民間診



大学生らによる鯨と海の科学館の展示物保存作業

所信表明の概要

療所および歯科診療所は、一部本設や仮設診療所で業務を再開していますが、今後も町民の健康を守っていただくため、診療所などが早期に再建できるよう支援していきます。

◇健康・福祉・医療・介護

仮設住宅などに入居している方に対しては、健康相談や健康教室を実施しながら、引き続き健康の維持、増進を図ります。また、精神的不安を抱えている方に対しては、県が設置している「宮古地域こころのケアセンター」と連携し、継続したこころのケアを実施します。

地域福祉については、社会福祉協議会、民生児童委員、福祉ボランティア、地域住民と連携し、支援を必要とする方を支え合いながら暮らすことができる環境づくりに努めます。

児童福祉については、延長保育、休日保育、病児・病後児保育、障がい児保育などの特別保育事業のほか、地域子育て支援事業への支援を行います。また、放課後の児童の居場所を確保するため、放課後児童クラブの拡充に努めます。

高齢者福祉については、高齢者に対する相談、介護、生活支援の提供はもとより、地域支え合い体制づくり事業を引き続き実施します。また、高齢者が地

域で安心して暮らせるよう生活管理指導員派遣事業、見守りネットワーク事業、災害時要援護者支援事業の充実に努めます。町の国保や介護保険などに加入している被災者の医療費などの一部負担金の免除措置を平成25年3月31日まで継続します。被災した介護老人保健施設などの早期再建への支援に努めます。

◎コミュニティ組織に対する支援

仮設住宅への入居から1年余りが経過し、仮設住宅団地において新たなコミュニティ活動が図られていることから、住民協働推進支援事業や仮設住宅組織育成支援事業により、その活動を支援します。

◎再生可能エネルギーの活用

各家庭への再生可能エネルギーの普及促進を図るため、個人住宅用の太陽光発電設備設置に対する補助金制度を創設し、8月1日より受け付けを開始しています。

大規模太陽光発電システム（メガソーラー）は、津波浸水区域の土地の買い取りが進めば、土地の活用策という観点からも有用であると考えています。

また、大規模停電発生時の非常用電源として、防災拠点となりうる公共施設へ再生可能エネルギー施設を整備を検討します。

◎副町長2人制の導入

通常業務に加え、震災からの復旧・復興事業により膨大となった事務を円滑に推進する体制強化を図るため、水産、農林、商工などの産業の再生と振興を担当する「専門分野」の副町長を新たに加え、この局面に対処していきます。



以上、今後4年間の町政運営、特に震災からの復旧・復興について特徴的な考え方について申し述べてまいりましたが、所信表明で触れなかったものにつきましまして、各年の施政方針や町議会開会中の機会あるごとに私の考え方を明確にしていまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

この極めて厳しい状況の中、新たなまちづくりを進めるためには、「あいさつ」から始め、町職員に対する信頼を再構築し、事務事業の遂行にあたっては、先例踏襲主義に陥ることなく、新たな発想でチャレンジしてまいります。

大震災によって、私たちは多くの尊い生命とかけがえのない財産を一瞬にして失いました。失ったことを嘆くだけではなく、その負の教訓を生かしつつ、亡くなった方々のさまざな思いや夢をしっかりと引き継ぎ、町民

の皆さまと手を携えて行動することが責務であると同時に使命であると考えます。

町内各界のリーダーの皆さまにおかれましても、岩手県が生んだ偉人、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の一節にある「あらゆることを 自分を勘定に入れずに」の精神で復興に取り組んでいただきたいと思います。

私は、「安全で暮らしやすいまち」をつくるのが復興の基本であると考えております。

このことに最大限の努力を傾注すると固くお誓いし、ここにあらためて議員並びに町民の皆さまに格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の所信表明とさせていただきます。



航空自衛隊山田分屯基地

西口雅人司令が離任

航空自衛隊山田分屯基地の西口雅人司令（42）が、9月15日付で離任されました。

西口司令は、平成22年9月に着任。東日本大震災では、発災直後に町役場に連絡幹部を派遣し、被災の状況を把握。町からの要請による支援内容などの確認をするともに大規

模震災災害派遣命令が発令されるまでの間、近傍災害派遣命令を発令し、必要物資の配布、人命救助、地上消火活動、給水および給食などの支援の陣頭指揮を執りました。西口司令は「当基地には、町出身者やゆかりのある隊員が多く在籍しています。山田に対する強い思いが隊員たちの活動の原動力となつていてと思います。震災はとても悲しい出来事でした。しかし、この

震災により人と人とのつながり、温かみを強く感じました」と、当手を振り返ります。

町へのメッセージを尋ねると「子どもたちの笑顔があふれる活気のある町に戻ることを信じています。山田町は、忘れられない町となりました。山田の皆さん、家族一同大変お世話になりました。本当にありがとうございます」と、感謝の言葉を話していました。



震災時の山田分屯基地の隊員による捜索活動。隊員のヘルメットには「皆様と共に」というメッセージが書かれている。

エゾノコウボウムギの自生確認 本町が国内最南端の自生地に

被災した船越の前須賀海岸で、北海道に主に分布する多年草エゾノコウボウムギの自生が釜石植物の会（釜石市）の鈴木弘文会長によって確認されました。震災前の2008年に大槌町の吉里吉里海水浴場で自生が確認されていましたが、津波による流出や復旧工事などの影響で群生地が消滅。このため、震災後は本町のエゾノコウボウムギが本州で唯一確認され、国内最南端の自生地となりました。

エゾノコウボウムギは、全国に分布する同じカヤツリグサ科のコウボウムギとは違い、茎の断面が三角形で表面にざらつきがあり、果胞（写真中央のトゲトゲした部分）がやや硬いのが特徴です。北海道から種が海を渡ってたどり着き、条件の良い同海岸で发育したものとみられます。発見した鈴木会長は「エゾノコウボウムギは環境の指標を示す重要なもの。次の世代に残していくことがとても大切です」と話していました。



本町に自生している数は、20株程度と生息数は少ないので、エゾノコウボウムギを見かけた人は間違っても抜かないようにご注意ください。



今月の題字

佐々木 颯くん
(豊間根小2年)

田町のわだい

山田町と架空の山田町が夢の共演 山田マチさんが本町で個展

8月24日から28日まで、作家の山田マチさんが本町で個展を開きました。山田さんの代表作は、架空の山田町を舞台とした「山田商店街」。会場となった街かどギャラリーには、この物語をベースにしたコミカルな書き物や、手作りの本町の地図などが展示され、訪れた人らは笑顔を咲かせていました。本町との間に強いつながりを感じていた山田さん。「“やまだまち”という名前も何かの縁。これからも山田町を応援していきたい」と語ってくれました。



香取市と倉敷市の団体が公演 芸能で子どもたちに元気を

山田の子どもたちに明るく元気に過ごしてもらいたい——。9月18日、荒川小学校と織笠小学校においてYAMADA星太鼓と岡山県の倉敷芸能塾が合同で公演を行いました。これは、本町とYAMADA星太鼓の所在する千葉県の上・山田町（現・香取市）が姉妹都市だった縁から実現したもの。公演に先立ち同団体から荒川小学校にエレクトーンが、織笠小学校にひな人形と五月人形がそれぞれ寄贈されました。公演は昔話や演技、太鼓を交えたもので、子どもたちは昔話に聞き入ったり、演技に笑ったりと楽しい一時を満喫。締めくくりに獅子が子どもたちの明るい未来を祈願しながら頭を噛み歩きました。

震災復興事業効率化への一歩 行政の垣根を超え覚書締結

町と県による「東日本大震災復興旧工事等に供する土取場と高台の整備促進に関する覚書」の締結式が9月19日、町役場において行われました。この覚書は、町が計画している高台の整備と、県が災害復興事業で使用する土砂の掘削を相互に協力して進めようとするものです。これにより、それぞれ単独で事業を実施した場合と比較して工事費が削減され、事業期間も1年以上短縮されることが見込まれます。締結式で佐藤町長は「今回の覚書締結は一石二鳥のもので、工期が短縮されることは被災者にとって大変心強い」とあいさつ。この県内初となる取り組みにより、復興事業の大幅な進展が期待されます。



10月1日から障害者虐待防止法が施行

障がい者への虐待を防ぎましょう

障がい者への虐待は絶対にあつてはならないことですが、周りの人や障がい者本人が虐待と認識できていない恐れもあります。町では、虐待の予防や早期発見、早期対応を図るため、相談窓口の充実に努めています。一人で抱え込まずにお気軽に相談窓口を活用してください。

▽障害者虐待防止法とは

虐待によつて障がい者の権利や尊厳が脅かされることを防ぐ法律です。また障がい者の家族などの負担軽減に関する支援についても定められています。

▽対象

身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）のある人

▽虐待の種類

・家族などによる虐待 障がい者の世話や金銭管理などを行う家族や同居人などによる虐待

・支援者による虐待 障がい者支援施設や障害福祉サービス事業所の職員などによる虐待
・雇用主・同僚などによる虐待 障がい者を雇用する人や職場の同僚などによる虐待

▽虐待となる行為

・身体的虐待 障がい者に暴行を加える、正当な理由なく身動きがとれない状態にすること
・性的虐待 障がい者にわいせつな行為を強要すること
・心理的虐待 障がい者を侮辱

すること、拒絶するような言葉や態度で、精神的苦痛を与えること

・ネグレクト 食事、入浴、洗濯、排せつなど必要な世話や介助をせず、障がい者の心身を衰弱させること

・経済的虐待 同意なしに障がい者の財産や年金、賃金などを使うことや、必要な金銭を理由なく与えないこと

▽通報義務

障がい者虐待に気づいた人は、速やかに通報する義務があります。通報者のプライバシーは厳守します。

◇相談（通報）窓口

・NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット（レインボーネット・☎71-1245）

※午前9時～午後6時。年末年始除く

・障がい者110番（平日・日中）☎019-639-6533、【土・日、祝日、夜間】☎090-2277-3456

◆通報窓口・問い合わせ

康福祉課地域福祉係（☎82-3111内線151）へ。

季節性インフルエンザ 予防接種の料金を助成

町では、季節性インフルエンザの予防接種費用の一部を助成しています。皆さんどうぞご利用ください。

◎中学生以下の助成

日本ユニセフ協会が実施するインフルエンザ予防接種支援事業を導入し、来年2月28日までの間に予防接種を受ける生後6カ月以上中学生以下の方を対象に接種費用の一部を助成します。

▷助成金額 1回につき2,000円（2回接種である13歳未満の場合は合計4,000円）

※助成金額を超過する費用は自己負担となります。

▷接種医療機関 うらべ内科クリニック、後藤医院、近藤医院

▷持参する物 母子健康手帳

※町外で接種する場合は、医療機関で費用の全額を支払った後、助成の手続きが必要です。来年3月15日

までに印鑑と領収書、母子健康手帳、預金通帳を持参し、町健康福祉課へお越しください。

◎65歳以上の方の助成

65歳以上の方を対象に、本年12月末日（各医療機関の最終営業日）まで、接種費用の一部（1,500円上限）を助成します。接種を希望する方は事前に下記の医療機関へお申し込みください。なお、町外での接種を希望する場合は、事前に接種依頼書などの発行手続きが必要となりますので、町健康福祉課窓口へお越しください。

▷対象 接種日時時点で65歳以上の人

▷接種医療機関 県立山田病院仮設診療所、うらべ内科クリニック、後藤医院、近藤医院

▷自己負担額 1,500円

※県立山田病院および町外の医療機関では料金が異なりますので、各医療機関へお問い合わせください。

▷持参する物 老人健康手帳または健康手帳

◆問い合わせ 町健康福祉課健康管理係（☎82-3111内線142）へどうぞ。



乳がん・子宮頸がん検診を実施

町では、乳がん・子宮頸がん検診を下記の日程で実施します。申し込みをした人は受検票と検診料を持参し、直接会場へお越しください。なお、申し込みをしていない場合でも下記の対象者に該当する方は受診できますので、事前にご連絡の上、受診してください。

◇日程

【10月】

期 日	会 場	受付時間
18日	保 健 セ ン タ ー	午前9時半～10時半 午後1時～2時
19日	〃	午前9時半～10時半 午後1時～2時
20日	〃	午前9時半～11時
22日	船越防災センター	午前9時半～10時半 午後1時～2時
23日	〃	午前9時半～10時半
〃	大浦漁村センター	午後1時半～2時半

▷対象者 下記の対象年齢に該当し、本年4月1日現在で船越、田の浜、大浦、織笠、大沢地区に住所があった方（山田、豊間根、荒川地区は来年度実施します）

▷対象年齢 乳がん検診…40歳以上（昭和48年3月31日以前に生まれた人） 子宮頸がん検診…20歳以上（平成5年3月31日以前に生まれた人）

▷検診料 乳がん検診…2,000円 子宮頸がん検診…1,300円

▷持参する物 乳がん検診…バスタオル

子宮頸がん検診…スカート

◆節目の年齢の方にクーポン券を配布

町では、特定の年齢に達する女性に対し「がん検診無料クーポン券」を配布します。対象となる方はお住まいの地区に関わらず受診できますので、ご利用ください。

▷乳がん検診クーポン券対象者

年 齢	生 年 月 日
40歳	昭和46年4月2日～昭和47年4月1日
45歳	昭和41年4月2日～昭和42年4月1日
50歳	昭和36年4月2日～昭和37年4月1日
55歳	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日
60歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日

▷子宮頸がん検診クーポン券対象者

年 齢	生 年 月 日
20歳	平成3年4月2日～平成4年4月1日
25歳	昭和61年4月2日～昭和62年4月1日
30歳	昭和56年4月2日～昭和57年4月1日
35歳	昭和51年4月2日～昭和52年4月1日
40歳	昭和46年4月2日～昭和47年4月1日

◆問い合わせ 町健康福祉課健康管理係（☎82-3111内線142）へどうぞ。

織笠地区の住宅再建に関する個別の面談会を開催します

町では、織笠地区に居住していた方で、今後新たなお住まいが必要な方を対象に「住宅再建に関する個別面談会」を開催します。これは、9月26日の「復興事業に関する説明会」で説明した内容をもとに、住宅再建の方法や場所、所有する土地の売却などについて、個別に確認するものです。

この結果をもとにして、高台に造成する住宅団地の面積や災害公営住宅の整備戸数などが決定される予定となっていますので、対象となる方はご参加ください。

▷面談でお聞きする主な内容 ▶今後のお住まいの再建方法と場所▶土地所有の状況と売却意向▶その他の相談

▷対象の方

- ・被災時に織笠地区に居住していた方のうち、住宅が全壊、大規模半壊、半壊の方
- ・被災時に織笠地区の高上げ地に居住していた方

▷開催日時と場所 今号に同封されている「山田町復興まちづくりかわら版号外」をご覧ください。

▷面談会の予約について

- ・対象の方に対し面談会のご案内をお送りします。
- ・電話で面談の予約を受け付けますので、面談を希望する時間と場所をご連絡ください。
- ・対象の方の条件にあてはまるにも関わらず案内が届かない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

◆問い合わせ 町復興推進課復興推進係（☎82-3111内線341、342）へどうぞ。

被災者の医療費・介護保険サービス利用者負担の免除制度について

国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険の加入者で、東日本大震災により被災し一定の要件に該当する方についての医療費窓口・サービス利用者負担の免除措置が、来年3月31日まで延長されました。

この制度は、震災により住家が全半壊・全半壊の被災をしたか、主たる生計維持者が▶死亡・行方不明または重篤な傷病を負った▶業務を廃止・休止した▶失職し収入がない——などの場合に、医療機関や介護サービス事業所に「免除証明書」または「免除認定決定通知書」を提示することにより窓口負担などを免除するものです。免除期間は9月30日までとされていましたが、延長により来年3月31日までとなりました。

新しい免除証明書または免除認定決定通知書は、対象者に送付しますので10月1日以降は新しい証明書または通知書を医療機関、介護サービス事業所に提示してください。

なお、これまで窓口などに提示していた免除証明書または免除認定決定通知書は、10月1日以降使用できませんので、ご注意ください。

※ほかの保険制度に加入している方は、お勤め先など加入している保険者へお問い合わせください。10月1日以降介護サービス利用を開始する方は申請が必要になりますので、町国保介護課へお問い合わせください。

◆問い合わせ 町国保介護課（☎82-3111【国保・後期高齢係】内線131、【介護保険係】内線135）へどうぞ。

免除期間が3月31日まで延長

被災者住宅ローン
相談会開催します◎個人版私的整理ガイドライン
住宅ローン減免制度相談会

東日本大震災被災者のための
ローン減免制度などに関する個
別相談会を開催します。電話相
談もありますので、どうぞお気軽
にご利用ください。

- ▷期日 10月2日、23日
▷時間 午前10時～午後3時
▷場所 町中央コミュニティセ
ンター第2研修室
▷電話相談窓口 コールセン
ター（☎0120-380-883）ま
たは、個人版私的整理ガイド
ライン運営委員会岩手支部
（☎019-606-3622）
▷電話相談時間 平日の午前9
時～午後5時
◆問い合わせ 個人版私的整理
ガイドライン運営委員会岩手
支部（☎019-606-3622）へ。

釣りをする際は
救命胴衣着用を

本町を含む釜石海上保安部管
内では、釣りをしている時の海
中転落事故が7月から9月にか
けて連続して起きています。特
に9月の海中転落事故は、海中
転落後に死亡するという大変痛
ましいものでした。このことから、
海辺で釣りなどをする際は、
次の点に注意してください。

- ①救命胴衣（ライフジャケット）の常時着用
救命胴衣を着用することで海
上で浮いていることができます。
②連絡手段の確保
携帯電話を防水パックなどに
入れ通信手段を確保しましょう。
③もしもの場合は「118番」
海辺などでの緊急時は118番
（海上保安庁）に電話しましょう。
④単独ではなく2人以上で
行動する
不測の事態にも対応すること
が可能となります。
◆問い合わせ 釜石海上保安部
警備救難課（☎23-2001）へ。

緊急雇用対策で
町臨時職員募集

町では、離職を余儀なくされ
た方を対象に期限付臨時職員を
募集します。選考方法は、履歴
書審査と面接です。町民課窓
口および役場各支所に備え付け
の履歴書用紙に必要事項を記入
の上、町総務課までお申し込み
ください。

- ▷業務内容 高齢者相談業務お
よび介護予防事業
▷勤務場所 国保介護課（山田
町地域包括支援センター）
▷募集人数 2人
▷応募要件 町内在住で▶社会
福祉士▶保健師▶看護師▶介
護支援専門員——のいずれか
の資格を有する人（宮古公共
職業安定所の紹介状が必要で
す）
▷賃金 日額7,400円
▷任用期間 11月1日～来年3
月31日
▷面接日 10月22日（月）
▷申込期限 10月16日
◆問い合わせ 町国保介護課地
域包括支援センター（内線
136）へどうぞ。

土地取引の際には
届け出が必要で

10月は「土地月間」です。土
地は国民の貴重な資産。土地の
投機的な取引や地価の高騰を防
ぐため、一定面積以上の土地を
取得する場合は、国土利用計画
法に基づき契約日を含め2週間
以内に県知事へ届け出ることが
義務付けられています。県内
では届け出を行わない、いわゆる
無届けでの取引が依然として後
を絶ちませんが、無届けの取引
や偽りの届け出をした場合には、
法律で罰せられることがありま
す。一定面積以上の土地を取得
した場合は、必ず届け出をする
ようにしてください。

- ◆届出先・問い合わせ 町企画
財政課政策推進係（内線426）
へどうぞ。

大沢スポ少が町勢で初の快挙
軟式野球県大会で初優勝

役場町長室で行われた報告会で笑顔を見せる子どもたち

9月15日から17日まで行われた岩手県野球協会旗争奪第
11回学童軟式野球新人大会兼第10回東北学童軟式野球新人大
会岩手県予選で、大沢野球スポーツ少年団が初優勝しました。
今大会の優勝は、町勢では初となる快挙です。同スポ少は大
沢小、船越小、織笠小の児童らで構成されたチーム。トーナ
メント方式で争われた同大会では、日々の練習で培われた
チームワークを発揮し、見事栄冠を手に入れました。

キャプテンの鈴木日向くん（大沢小5年）は「これまで応
援してくれた家族・地域の方々、支援してくれた全国の野球
スポ少の仲間たちに感謝しています。東北大会では、県大会
で敗れたチームが流した悔し涙の分を一投一打に込めて勝ち
抜き、町に明るいニュースを届けます」と、東北大会への熱
意を燃やしていました。

山田キッズミュージカル公演
ピーター・パン出演者大募集

特定非営利活動法人「劇団
ゆう」では、町内に在住の小
学生と中学生を対象に、
ミュージカル「ピーター・パ
ン」の出演者を募集します。
初心者でも参加できますの
で、参加を希望する方は郵
送またはファクスでご応募
ください。

- ▷日時 来年2月10日（日）
午後2時開演
▷場所 町中央公民館大
ホール

- ▷練習日 ▶12月1日、15日、来年1月5日…町中央コ
ミュニティセンター▶来年1月19日、2月2日、9日…
町中央公民館

- ▷練習時間 午前10時～正午
▷募集人数 50人（ネバーランドのインディアン役）
▷申込期限 11月10日

- ◆申込先・問い合わせ 特定非営利活動法人劇団ゆう（〒
020-0173岩手郡滝沢村滝沢字土沢265-3 ☎019-658-
8988・ファクス019-687-5512）へどうぞ。



おしらせ



まちで出会ったかわいい笑顔



中・高吹奏楽部の 演奏会にご来場を

◎山田高校吹奏楽部定期演奏会

▷日時 10月7日(日)

午後2時半開場 3時開演

▷場所 町中央公民館大ホール

▷入場料 無料

◆問い合わせ 山田高校吹奏楽部・岩間(☎82-2164)へ。

◎山田中学校吹奏楽部チャリティーコンサート

▷日時 10月14日(日)

午後0時半開場 1時開演

▷場所 町中央公民館大ホール

▷入場料 無料

◆問い合わせ 山田中学校吹奏楽部・千葉(☎82-2661)へ。



遠野実習場で受講 職業訓練生を募集

▷募集科と定員 ▶住宅建築施工科…10人▶住宅設備施工科…10人

▷訓練期間 11月14日～来年5月21日

▷入所選考日 10月31日(金)

▷選考会場と時間 ▶ハローワーク遠野…午前10時～▶ハローワーク釜石…午後1時半～▶岩手県建設業協会大船渡支部…午後1時半～

▷受講要件 ハローワークに求職の申し込みを行っている人

▷受講料 無料(ただしテキスト代約7,000円は自己負担)

▷申込期限 10月24日

▷申込先 ハローワーク宮古(☎63-8609)

◆問い合わせ 岩手職業能力開発促進センター遠野実習場(☎0198-63-1411)へ。



町職員人事異動 (10月1日付)

◆企画財政課 ▷主事(学校教育課同)佐藤三智子◆税務課

▷主事(企画財政課同)笹原祐起



ソフトバレー大会 こそってご参加を

◎第31回勤労者ソフトバレーボール大会

▷開催日 10月29日～31日

▷試合開始時間 午後7時～

▷場所 山田中学校体育館

▷対象 ▶町内に居住している
▶町内に勤務している——の
いづれかに該当する人

※該当しない人でも町内のチームに所属している場合は、1チーム2名まで参加できます。

▷参加料 1チーム2,000円

▷申込期限 10月15日

◆申込先・問い合わせ 町生涯学習課社会体育係(内線631)へどうぞ。



萩尾信也さんの 講演会行います

龍昌寺・社会福祉法人三心会では、著書「三陸物語—被災地に生きる人びとの記録—」で日本記者クラブ賞を受賞した萩尾信也さんによる講演会を開催します。どうぞご聴講ください。

▷日時 10月14日(日)

午後1時半～

▷場所 龍昌寺本堂

▷演題 「生と死の記録—御巢鷹山から三陸を語り継ぐ—」

◆問い合わせ 龍昌寺(☎82-3089)へどうぞ。



障がい者への支援 考えてみませんか

発達障がい児・者への支援を考える「平成24年度宮古圏域発達支援セミナー」が開かれます。

▷日時 10月20日(土)

午後3時～5時

▷場所 町中央公民館大ホール

▷演題 「こどもとおとな、発達達の凸凹(でこぼこ)」

▷定員 300人

▷申込期限 10月19日

◆申込先・問い合わせ 宮古圏域障がい者福祉推進ネット(☎71-1245)へどうぞ。



引揚者の預かり物 税関で返還します

税関では、終戦当時に引揚者から預かり保管している通貨、証券などを本人またはご家族に返還しています。心当たりのある方は税関までご連絡ください。

◆問い合わせ 宮古税関支署(☎62-6559)または大船渡税関支署釜石出張所(☎25-0362)へどうぞ。



労働保険事業主の 説明会開催します

◎平成24年度労働保険事業主説明会

▷日時 10月18日(木)

午後1時～4時

▷場所 宮古地域振興センター

3階第3会議室(宮古市五月町)

▷内容 労働保険制度、公共職業安定所の助成金、定年の引き上げなどに関すること

◆申込先・問い合わせ 岩手県労働保険事務組合連合会事務局(☎019-654-4647)へ。



男性を対象とした 料理講座開きます

町内在住者が中心となり活動するボランティア団体「復興支援ネット・オデンセ山田」では、男性のための料理講座を開催します。参加料は無料で、手ぶらで参加できます。参加を希望する方は、電話またはEメール(odenseyamada@gmail.com)で申し込むか、町内各仮設住宅の掲示板に備え付けのはがきに必要な事項を記入して郵送してください。当日の飛び入り参加も受け付けます。

◎第14回「男の料理講座」

▷日時 10月6日(土)

午前10時半～午後1時半

▷場所 町中央コミュニティセンター

◆申込先・問い合わせ 復興支援ネット・オデンセ山田(☎080-2817-3414)へどうぞ。



山田病院の眼科 診療日が変更

県立山田病院では、10月から眼科の診療日が次のとおりに変更となります。

▷診療日 ▶午前診療…毎週火曜日▶午後診療…毎週月曜日

▷受付時間 ▶午前診療…午前8時半～11時▶午後診療…午後1時半～4時

◆問い合わせ 県立山田病院(☎82-2111)へどうぞ。



各種相談あります お気軽にご利用を

◎なんでも相談会

▷相談日 10月23日(火)

▷時間 午前10時～正午、午後1時～3時

▷場所 町中央コミュニティセンター2階会議室、集会所

▷内容 法律、財産、税金、不動産、ローン、年金、事業計画書などあらゆること

◆問い合わせ 岩手県司法書士会(☎019-623-1555)へ。

◎多重債務相談窓口

東北財務局盛岡財務事務所では、多重債務者に対する相談窓口を開設しています。どうぞお気軽にご相談ください。

▷窓口所在地 盛岡合同庁舎1号館3階(盛岡市内丸)

▷相談受付時間 毎週月～金曜日(土・日、祝日除く)の午前8時半～午後5時15分

▷相談専用電話 多重債務相談窓口(☎019-622-1637)

◆問い合わせ 東北財務局盛岡財務事務所理財課(☎019-625-3353)へどうぞ。



お詫びと訂正

9月1日号の掲載記事に誤りがありました。深くお詫び申し上げます。次のお詫び訂正致します。
▷町民駅伝大会参加者募集(7頁)の申込期限
(誤)10月7日→(正)10月3日

みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ 〒028-1392 (住所不要) 山田町役場総務課情報係 (内線417) へどうぞ。

織笠地区に 明るい兆しが

震災から一年半が過ぎ、活動を途絶えていた織笠地区コミュニティ推進協議会が立ち上がり、去る7月29日午後1時から轟木小学校で織笠復興歌謡ショーが開催されました。幕開けとなる伝統ある鶏舞を勇壮に舞う女性たちに見られました。詩吟、カラオケ、吹奏楽や老人クラブの踊りなど、私の好きな「あの鐘を鳴らすのはあなた」なども歌われました。どの出演者にも会場は拍手喝采。トリの織笠八木節を見ながら、40数年前山中体育館で華々しく仲むつまじく踊った方々を思

い出し…。出演者、役員の方々、つらい立場ですが、前向きのご協力に感銘を受けました。

また、8月16日送り盆の夕方、小学校入り口では震災で亡くなられた111名の御霊、夢明かりが並べられ、住職さんが追善供養。私は一瞬に永遠の別れとなったことを追想しながら合掌。偶然、空には虹がきれいにかかっていました。

織笠地区コミュニティ推進協議会の役員の方々のご配慮に地区民として感謝申し上げます。

菊地 サカエ(織笠・77)

忘れるな、 津波は必ず来る

9月11日、東日本大震災より今日で1年半と報道組織は大きく取り上げている。皆さんそれぞれに複雑怪奇なる思いがあるが、長くも早い1年のことだったろう。

俺、現実と中国唐時代の代表的詩人杜甫の詩が感情的に思い重なる。3月11日の大津波襲来。“国破山河有”大津波、夢も希望も身も心も破れ去り、うつろなる心と故郷の山と河。膨大なるがれきだけが残る。暦の上ではすでに春。我が北国は粉雪もちらつく厳寒の候でも時は進み、

草木も茂る盛春、犠牲になられた方々に捧げる花にも涙。別れを悲しんでは、波の音にも心が揺らぐ。津波による各地の火災が数日におよぶ中、各地より安否を気遣う家書情報の少ない中に万全に値する家書、ありがたかったです。

でも白髪光頭の今、あの30年内に襲来するとした津波の公表に、海そして沿岸に生きる人々が信頼して行動を考えたのか？必ず襲来して津波に対しての知識については先人から聞く。

今盛んに論議をしている南海トラフ地震は東日本大震災の数倍にもおよぶとした犠牲者の数、どこの都市の人口ぐらいになるのだらう。南海トラフによる津波が襲来したら日本列島半分全滅？30年内、99%で襲来の経験を生かして南海トラフに對しての防災に万全を期していくと考えている。

山崎 卓三(大浦・?)

働くアリたち

気温30度を超す記録的な猛暑が続くこのごろですが、小学生のころ「アリとキリギリス」という昔話を聞いたことがありました。そんなことを思い出しながら、今は何をしてもない自分を振り返る時、この白熱の暑い日中にアリたちは「せっせ、

わたしの一枚



「セミの羽化」

8月11日の花火大会の帰りに見つけて撮りました。

北小5年男子(11)

せっせ」と越冬のための蓄えに余念がない。この暑い日中に食糧となる「エサ」を集め、一匹で運べないものは、仲間に連絡をし、仲間を集め協力しながら巣穴へと運ぶ。そして、巣穴の入り口より大きければ、今度は解体するアリが出て来て解体して巣穴の中へと運び入れる、その助け合いのしぐさは、人間社会より上級な団結力と私は思う。「エサ」を見つけ巣穴に向かう方向感覚もすばらしい。それに比べて方向音痴の自分を情けなく思う。これからはアリたちを見習って一生懸命頑張りたいと思うこのごろです。

西館 隆(船越・?)

やまだ文芸広場

鎮魂の鐘鳴らし
海ながむれば

山田の海の色の深さよ

内館 洋一(飯岡・69)

命の秋

秋になると、恋しく余計に思う時。それでも生きる事に秋らめず命の秋を一笑に共に生きま笑。

佐藤 啓子(山田・?)

イラストコーナー

佐々木 真央(7)



真矢(11)





山田の原風景を追想しながら



「ゆかしき花 衣笠草」を出版
福士 博さん（飯岡・67歳）

「震災が一つのきっかけとなり、発刊しようと思いましたが、生かされたこの命でわたしのさまざまな思いを残したいと考え、筆を取りました」と話すのは、飯岡の福士博さん。8月に随筆集「ゆかしき花 衣笠草」を自費出版し、町内

や近隣市町村の書店で発売しています。

同作品は、福士さん初の随筆集「ハギの花は秋の花」を発刊した2003年からことしまでの9年間、新聞社に寄稿したものや新たに書き下ろしたもののなど、全31編で構成されています。「二期一会」という言葉を作品の軸としながら、昔懐かしい山田での思い出や日常のちよつとした出来事、趣味の登山で見つけた高山植物の群生地のことなどを昔のことでありながら新鮮さを感じさせる表現で書き、原風景を読者に想像させます。

福士さんは「かつて暮らした山田の原風景を感じ、これからの暮らしに生かしてほしいと願います。特に今後のまちをつくる若者に読んでほしいですね」と笑顔で話していました。



表紙は、高山植物の「衣笠草」が描かれています。

キッチンスタジオ No.49 ハーモニー

このコーナーでは、町管理栄養士や山田町食生活改善推進員連絡協議会の皆さんが手軽にできるお弁当や郷土料理、旬の食材を使った料理などをご紹介します。今回は、かぼちゃを使ったふんわりもっちりほんのり黄色の「かぼちゃドーナツ」です。

【材料（12個分）】

かぼちゃ…正味100㌒ 薄力粉…80㌒ 卵…1個
ベーキングパウダー…小さじ1 塩…ひとつまみ
砂糖…大さじ1と1/2 揚げ油…適宜
薄力粉（打ち粉）…少々

【作り方】

- ① かぼちゃの皮をむき、種とわたを取ったらひとくち大に切る。電子レンジなどで軟らかくし、フォークやマッシャーでよくつぶす。
- ② 薄力粉とベーキングパウダー、塩を合わせてふるいにかけておく。
- ③ 容器（ボール）に卵を割り入れ、あわ立て器でときほぐし、砂糖とサラダ油を加えて混ぜる。
- ④ ③に①のかぼちゃを加えてよく混ぜる。②の振るった粉を加え、ゴムベラで大きく切るようにサクッと混ぜたら、手でまとめる。ラップをかけて冷蔵庫で30分休ませる。
- ⑤ 台（まな板など）の上に打ち粉を振り、④の生地を10㍻くらいに長さに整え、12等分に切り分ける。
- ⑥ ⑤の生地を手のひらでそっと前後に転がして丸めて両端をくっつけ、リング状にする。

かぼちゃドーナツ



- ⑦ 揚げ油を弱めの中温に熱し、⑥をそっと入れる。焦げないように返しながらかんがり揚げ、油を切ると出来上がり。

【作り方のコツ】

ミックス粉でも作れますが、薄力粉で作るとかぼちゃの風味が残り、食感も良くなります。また、かぼちゃの甘味を確認してから分量の砂糖を増減させると、よりおいしいドーナツが出来上がります。



おめでとう・おくやみ

8月届け出分（敬称略）

【出生】（ ）は保護者と性別

▷山田 梅木幹捺（竜一・女）、武藤拳太郎（勝彦・男）

▷豊間根 佐々木翔栄（翔太・男）、佐々木夕梨夏（義明・女）、佐々木優輝（勝彦・男）

▷石峠 芳賀啓人（正彦・男）

▷荒川 芳賀柚月（正一・女）

【結婚した二人】（ ）は住所

山崎貴光（船越）・平野由子（釜石市）

【死亡】（ ）は年齢

▷山田 佐藤祝（90）、木村フミ（89）、阿部美保（75）、飯岡光夫（81）、横田孝司（81）、武藤ケイ（81）

▷大浦 川端秀男（75）

▷織笠 阿部リチ（103）、福士隆雄（85）、大久保フサ子（65）、坂本良一（79）

▷大沢 上澤長人（88）

▷豊間根 清川正一（78）、佐々木武治（85）、尾形キワ（68）、瀬川善一（82）、豊間根ヒロ（88）、勝山キエ（75）

▷石峠 日向忠幸（69）

町民のうごき

（8月1日～31日）

▷出生……7人 ▷転入……46人

▷死亡……23人 ▷転出……35人

▷人口…17,302人（今月増18人）

男…8,373人 女…8,929人

▷世帯数………6,755世帯

※住民基本台帳法の改正に伴い、今月より外国人住民を含んだ数となっています。

◆今回は本町と同じ名前の山田マチさんの個展取材。コミカルな作品に思わず笑ってしまいました。ちなみに現在「山田」と名の付く市町村は全国で本町だけです。ご存知でしたか？
◆みこしを担ぐ人たちの表情は力強く、活気に満ちていました。そんな熱気あふれる祭りを取材する私の手には包帯が…。前日に八手に刺され一足早く盛り上がりを見せていたのです。



山崎 陽向
（船越・重光・男）



川村 京楓
（船越・歩・女）



佐々木 相乃
（八幡町・茂樹・女）



佐々木 凌央
（長崎・統一郎・男）



永田 恋華音
（豊間根・学・女）



※敬称略、（ ）内は地区名・保護者・性別です。



笹花 柊弥
（長崎・弘行・男）



千葉 雄晟
（大沢・新・男）



佐藤 隼輔
（八幡町・智典・男）



佐藤 然
（山田・陽介・男）



佐々木 悠寿
（田の浜・吉輝・女）



田村 亜結永
（織笠・礼之・女）

民謡にふれあってみませんか

山田民謡伝承会では、「クボタ民謡」でおなじみの王藤正三さん、小田島純子さんをゲストに招いて民謡コンサートを開催します。舞踏などの披露もありますので、皆さんお気軽にお越しください。

▷日時 10月13日（土）午後0時半開場、午後1時開演

▷場所 町中央公民館大ホール

▷入場 無料

◆問い合わせ 山田民謡伝承会（代表・新保 ☎090-7066-3861） へどうぞ。